

令和8年度

運営に関する計画

目標設定



令和8年4月

大阪市立三津屋小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題**【安全・安心な教育の推進】**

定例の生活指導部会やアンケート等で、児童の実態把握に努め、課題の共有や改善を図り、また、組織的な対応も心がけ、児童の安心・安全な生活につなげた。また、あいさつ運動・集会活動などたてわり班活動を実施することで異年齢児童が常に交流し、互いを思いやる心を育てることに努めた。その結果、児童アンケートにおいて、「縦割り活動で高学年にやさしくしてもらった(低学年にやさしく接した)」の肯定的評価は95.1%となりR5年に掲げた目標(80%)を達成することができた。

しかし、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」について『最も』と答えた児童の割合は、87.5%にとどまり、R5年に掲げた目標(90%)を達成することができなかった。また、不登校の課題は年々多様化・複雑化し、年度末の校内調査において不登校児童の在籍比率は昨年度より増加した。今後、毎月実施の生活指導連絡会でより一層情報共有するとともに、継続して学校組織全体で総力を挙げて課題解決を目指し取り組んでいく課題として残った。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

基礎基本を重点に置いた授業づくりをどの学年も行い、自力解決や話し合い、練習問題の取り組みなど様々な方法で学力の向上に努めた。読書タイムや読み聞かせ、読書カードを活用した学級での取り組みを行うことで、児童の読書への関心を高めた。その結果、小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」については最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合が40.8%となり、R5年に掲げた目標(40%)を達成することができた。また、小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対しての肯定的評価は84.2%であり、R5年に掲げた目標(80%)を上回った。

しかし、小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させることはできなかった。また、「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は73%であり、R5年に掲げた目標80%以上には及ばなかった。以上のことより、学校の取り組みとして意識の向上に一定の成果が見られるが、国語科・算数科の基礎学力向上、また英語科に対する肯定的な意識の向上には課題が残る結果となった。

【学びを支える教育環境の充実】

児童がデジタル教材やタブレットに触れる機会を多く取り入れたことで、活用方法が身に付き、学習に生かす取組を進めた。結果、『学習者用端末を活用することができる』に肯定的に回答する割合が92.6%でR5年に掲げた目標を達成することができた。「一人一台学習者用端末を使って、意見を交流することができる」の肯定的評価も78.5%となりR5年に掲げた目標を達成することができた。

また、業務内容を見直し・改善することにより学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業以外の休業日については1日以上設定することができた。

中期目標**最重要目標 1【安全・安心な教育の推進】**

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度

- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度

- ・学校アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度

- ・学校アンケートにおける「なかよし班活動で協力して（力を合わせて）楽しむことができた。」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度

最重要項目 2【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.2ポイント向上させる。

国語	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
現6年生	99.3				
現5年生	99.9				
現4年生	103.3				
現3年生	—				

- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度

- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度

- ・校内アンケートにおける「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時間に起きていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度

最重要項目3【学びを支える教育環境の充実】

- ・小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%以上にする。

令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度

- ・時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。

- ・学校アンケートにおける「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度

2 年度目標

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86.9%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86.6%以上にする。
- 学校アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- 学校アンケートで「なかよし班活動で協力して（力を合わせて）楽しむことができた。」と答える最も肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）」の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を73.1%にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。
- 年度末の校内調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時間におきていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

- 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を75%以上にする。
- 時間外勤務時間について月100時間以上実施する教員をゼロにする。
- 学校アンケートにおける「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を57%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

(様式2)

大阪市立三津屋小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 学校園の年度目標 ○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86.9%以上にする。 ○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86.6%以上にする。 ○学校アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 ○学校アンケートで「なかよし班活動で協力して(力を合わせて)楽しむことができた。」と答える最も肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 校内調査を実施し、現状を把握し、いつでも相談しやすい関係づくりに努める。また、スクールライフノートの心の天気や相談機能でいつでも個別に対応ができるようにする。 ----- 指標 ・校内調査を1回以上を行う。 ・日頃の児童の様子を観察するとともに、スクールライフノート学校生活ウォッチャーで毎日1回以上確認する。	
取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 学級だけでなく教育活動全体を通じて、楽しい集団作りを実践する。 ----- 指標 ・校内調査で「学校が楽しい。」という旨の回答の割合を70%以上にする。	
取組内容③【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 学級だけでなく教育活動全体を通じて、認め合い、支え合う集団作りを実践する。 ----- 指標 ・校内調査で「自分に良いところがある。」という旨の回答の割合を70%以上にする。	
取組内容④【基本的な方向2、豊かな心の育成】 他者を敬う心を育成するため、児童が主体的に取り組む縦割り班活動を実践する。 ----- 指標 ・学期に1回以上、児童が主体的に計画・運営する縦割り班活動を実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点

大阪市立三津屋小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p><u>学校園の年度目標</u></p> <p>○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「外国語(英語)」の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を73.1%にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時間におきていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>国語科の学習や朝学習、家庭学習で、「読む」ことを意識した学習行う。</p> <p>指標</p> <p>・新聞記事の要約やリーディングスキルを用いた学習等を月に1回以上実施する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>授業づくりの基礎・基本を重点に置いた授業力向上の取り組みを進めることで、授業力の底上げを図り、学力向上につなげる。</p> <p>指標</p> <p>・授業づくりの基礎・基本を重点に置いた授業研究を、全員が年間1回以上行い、相互に指導・助言し合う。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>日常的に英語に触れる環境を作り、児童の英語への苦手意識の軽減を図る。</p> <p>指標</p> <p>・学期に1回以上、学校全体で英語を使った取り組みを行う。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】</p> <p>体力向上のための運動機会の設定や、場の設定をする。</p> <p>指標</p> <p>・年1回以上「ぐんぐんスポーツ」として、運動委員会を中心に、全校(各学級ごと)</p>	

<p>で運動する機会をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての学級で、研修内容を活かした取り組みを年に6回以上行う。 	
<p>取組内容⑤【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】</p> <p>睡眠の重要性について、学校の指導、家庭への啓発を通して意識を高めるようにする。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康委員会を中心に、月に1回「キラキラチェック」を行う。 年に1回、学校保健委員会による睡眠についての啓発を行う。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立三津屋小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を75%以上にする。</p> <p>○時間外勤務時間について月100時間以上実施する教員をゼロにする。</p> <p>○学校アンケートにおける「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を57%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6、教育DXの推進】</p> <p>朝学習の時間やスキマ時間、家庭学習において、デジタル教材や一人一台学習者用端末を活用した学習及び、授業以外の場面で学習者端末を活用（心の天気含む）する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材、または一人一台学習者用端末を活用した朝学習、スキマ時間学習、家庭学習での活用。及び、授業以外の場面で学習者端末を活用（心の天気含む）を週3回以上使用する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向6、教育DXの推進】</p> <p>教職員の働き方改革に関して勤務時間の最適化を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 会議等を設定しない「ゆとりの日」を設定する。 学校閉庁日については、夏季休業期間中は4日以上、冬季休業期間中は2日以上設定する。 	
<p>取組内容③【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>読書週間の「読書にチャレンジ」と読書記録カードを一体化し、自分の読書歴や読書量を振り返ることができるようにする。それにより、普段の読書に対する意識・意欲を高め、習慣化を図る。また、読書量・読書傾向などを把握しやすくし、日々の読書指導に生かす。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学年で、年間を通して、統一の読書記録カードを活用して読書指導を行い、読書目標達成率を昨年度（60%）以上にする。 	
<p>取組内容④【基本的な方向8、生涯学習の支援】</p> <p>読書週間の定着を図るため、「読書タイム」を実施するとともに、学期に1回、全校での「読書週間」を設定する。また、学校司書や地域ボランティアによる読み聞か</p>	

<p>せの機会を設けるとともに、その活動と連携し、読書への関心を高める。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての学級で、週1回、「読書タイム」を実施するとともに、学期に1回全校での「読書週間」、年1回「絵本展」を設定する。 ・すべての学級で、隔月に1回以上、地域ボランティアの活動と関連させた読書活動を行う。 ・すべての学級で、年1回以上、学校司書による読書指導や読み聞かせを行う。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	